

生徒指導便り NO.7

令和2年12月24日

星林高校生徒指導部発行

明日から冬休み。年末・年始のあわただしい時期ですが、星林高校生としての自覚を大切に、毅然とした態度で高校生らしい生活を送って下さい。以下の点に注意して、安全で充実した冬休みを過ごして下さい。

冬休みの過ごし方について

夏休みと同様に、別紙冬期休暇中の生徒注意事項と以下の約束事を中心に、自分を高めるための冬休みを過ごして下さい。

①目標を立てよう

「一年の計は元旦にあり」です。自分の将来についてしっかり考えよう。

②規則正しい生活をする

年末年始は夜更かしをする機会も多くなりますが、規則正しい生活を心がけよう。

③髪の毛を染めたり脱色したりしない。

夏休みにも連絡しましたが、一度染めると卒業まで黒染めを継続してもらうことになります。絶対にしないでください。パーマも同様です。

④誘惑にのらない

年始は特にいろんな人から飲酒や喫煙などをすすめられることがあります。きっぱりと断る勇気を持とう。

⑤家の手伝いをする

日頃忙しくて出来ていない生徒はこの機会に大掃除を手伝おう！掃除で心も磨かれます。

※事故等が発生した場合には必ず学校に連絡すること。(12月28日～1月5日は休業中です)

遅刻・スマホについて

①遅刻について

期末考査が終わってから気持ちの緩みと12月に入って気温が下がることで、遅刻者、欠席者が急激に増加しています。今年度もあと少しです。最後まで緊張感を持った学校生活を心がけてください。遅刻して指導を受けるのは高校までです。社会人になって指導を受けるときには、すでに周囲の信頼を失っているはずです。心当たりのある生徒は、もう一度自分自身の生活を振り返り、今の間に基本的な生活習慣を身につけるように心がけよう。

②スマホの利用について

ネット上の不適切な投稿等については以前から注意喚起していますが、最近校内での使用ルールが守られていないようです。中には授業中(課題含む)に使っている生徒もいるという話も聞こえてきます。スマホの校内持ち込みを許可しているのは、登下校時の緊急連絡手段としての必要性を認めているからです。最低限のルールは守れるようにしましょう。

田中より

ある大学で、なかなか家庭学習ができない学生たちに、どうしたら勉強するようになるかという研究をした先生がいました。その結論は2つ、

①勉強のやり方を教え理解させ、身につけさせること

②計画を立てて意識させ、それを基に勉強させること

だそうです。行き当たりばったり&思いつきで急に行動しても、人間は勉強の習慣が身につかないということです。冬休みに入る手前、気が抜けていませんか？さらに、無計画でとにかく与えられた課題は答えを写してとりあえず提出しとけと思っている人はいませんか？冬休みの1日の時間割、そしてどの日にどこまでやれば良いか、計画を立ててみませんか？いつもより学習に身が入ると思います。

遊びたい気持ちはよく分かります。お年玉や家族での団らん、友達等のお出かけ、初売り福袋、色々と誘惑が多く、つい甘えてしまいますよね。ですがもう一度。「高校生の冬休みは、休みにあらず！」&「一年の計は元旦にあり！」良い春を迎えるよう、良い冬休み、良い年末年始をお過ごし下さい。充実した冬休みを3学期の成長につなげよう。始業日1月7日、遅刻しないように余裕をもって元気に登校してきてください。